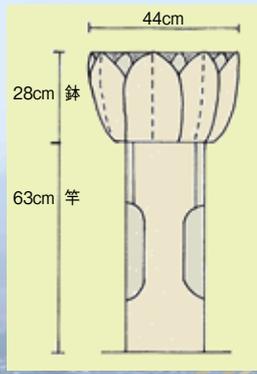


常福寺にある
蓮華形の石造水鉢



常福寺石造水鉢



実測図



鵜飼町の常福寺に、蓮の花（蓮華）の形をした石造水鉢があります。

水鉢は、高さ91cmの花崗岩製で、八角形の鉢の側面に蓮華文を刻み出す備後特有の形をしています。そして、竿には、薬師三尊の種子（梵字）の他、文字が刻まれています。風化が激しく読むのは困難ですが、正面は、「奉寄進手水桶一器□□□□」檀那□万歳栄盛當者也、「左側面は、□□不退□者也」「五□左衛門」「天文廿一年（1552）壬子十一月吉日（天文十一年と読む説もあります）」、背面は、「尾道住大工左衛門」と判読され、天文年間（室町時代後期）に、左衛門という尾道在住の石工によって製作された手水鉢であることが分かっていきます。

この人物については、同じ天文21年に製作された吉備津神社（福山市新市町）本殿にある敷石の縁石にも、「大工尾道之住左衛門次郎作」とあり、石工の中でも格上の人物であった可能性が高いとされています。

製作年代と製作者が明らかになっている貴重な石造物で、府中市の重要文化財に指定されています。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

市民編 その6



投稿者（文と写真）

原田清一さん
プロフィール
公民館のクラブ活動や府中写真連盟に加入し、写真を楽しんでいます。

あじさい寺（神宮寺）

カメラマンにとって神宮寺は、あじさい祭りやモデル撮影会などでも、馴染み深い所です。



大同2（807）年、寺の上にある南宮神社の別当寺として創建され、明治の神仏分離令でお宮とお寺は分されました。

神宮寺のあじさいは地域のあじさいを育てる会の会員の方たちが主になって毎月2回以上の、共同作業によって管理運営され綺麗なあじさいを咲かせています。

池には睡蓮や花ハスなども植えられ、さらにあじさいの日陰造り、また長い間楽しめる様にと、やまぼうしなども植えておられます。将来は山の麓にも植える計画を立てておられます。訪れる度に、私たちを楽しませてくれる事でしょう。

もう1つ意外と知られていないのが、府中神宮寺郷土館です。

この辺り一帯は古墳群で平井古墳群を中心とした出土品や昔からの民芸品、農業の仕方も含めて再現展示した農機具など、数多く所蔵されています。

あじさい寺に参ったら、ぜひ観てください。一見の価値ありですよ。

平成28年4月1日(1211)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。

